

市・議会・市民ともに負うべきと考えております。
言葉は、どんなに美しく情熱的に語られたとしても行動ではありません。約束は行動で証明していきたいと考えております。

マニフェスト7つの元氣！

さて、先に申し上げましたように、昨今の社会情勢は激変の中にあります。急激に進展する少子高齢化、産業や情報のグローバル化、地球規模の環境問題などの課題により、これまでの人口増や経済の安定的な発展を前提とした社会システムを根本的に見直さなければならぬ時代を迎えております。

地方自治体におきましても、これら社会経済構造の変化を背景に、地方分権や市町村合併などの制度の改正、あるいは社会保障制度の変化への対応が迫られております。また、経済や雇用、教育や医療など様々な分野において地域間の格差が広がり、さらには、100年に一度という世界的な未曾有の経済危機を目の当たりに、市民の暮らしへの不安、将来への不安はますます大きくなっております。

私は、市民の皆様を不安を少しで

の喜ぶ声を聞き、そして笑顔を見たい。そんな私の願いを少しでも早く実現していきたいと、次の二つを提案させていただいております。

一つ目は、高島市公共施設の使用料無料化でございます。

市民皆様のスポーツ活動、文化活動、またコミュニティ活動などが、もっと気軽に、もっと楽しく行っていたらということで、元氣であたたい、思いやりにあふれた高島市づくりが展開されるよう、公民館をはじめとする社会教育施設、また体育館、グラウンドといった社会体育施設やコミュニティセンター等の地域コミュニティ施設など、市民生活と密接に関係し、地域において市民の活動拠点となる施設の無料化を、一部条件を付けて本年4月1日から実施していくものであります。

二つ目は、国民健康保険税の暫定税率適用の延長でございます。



も解消し、地域の経済を支援するためにマニフェストで掲げさせていただきました「7つの元氣」が出る政策を出来ることから実行してまいります。

一つ目は、「5年間の子育て支援」でございます。

乳幼児健診から保育、園整備、世代間交流など、子どもを守り、子育てが安心してできる環境づくりを力強く進めてまいります。

二つ目は、「教育の推進」でございます。

高島の財産を育てるため、PTAとの連携や補助教員を確保し、知力を鍛え、情操を育んでまいります。

三つ目は、「医療の充実」でございます。

かかりつけ医との連携。安心と信頼。地域医療を担える市民病院を整備してまいります。



国民健康保険は、合併協定により、旧町村の最低保険税率を採用したことにより、収支バランスを確保することが困難な状況で、平成18年度には県の広域化支援基金の借入れを行い、厳しい財政運営を続けております。

現在の社会状況を考慮しまして、被保険者の負担が増えないように、一般会計より、広域化支援基金償還分の5千万円を繰り入れて、平成20年度の暫定税率を引き続き、平成21年度も適用して運営しようとするものでございます。

また、今回の「骨格予算」関係ではありませんが、私のマニフェストを実現していくための具体策の一つとして、「市内業者との契約を原則にします」とお約束しています。物品購入・印刷・各種調査・公共事業など、市内の業者さんに発注可能なものは、市内発注を原則としていきたいと考えております。「限り

四つ目は、「高齢者の支援」でございます。

先行きの不安がないよう在宅・施設支援を充実してまいります。

五つ目は、「民間活力の応援」でございます。

「経済振興基金」を創り、頑張る「たかしま商人」を応援してまいります。そして、都市からの若者の交流・流入を進め、定着する施策を押し進めてまいります。

六つ目は、「産業の振興」でございます。

都市近郊の利点を生かした、攻める特産物の売り込みを行っていくとともに、地場産業の活性化のため活動を支援してまいります。

また、食の根幹であります農業の振興に取り組んでいくほか、雇用の安定と確保に努めてまいります。



れた予算の無駄な支出は行わず、市民皆様のために税金を使う」ということを基本にして、この厳しい社会状況に打ち勝っていくために、皆様と力を合わせて、『高島市』の確かな明日を実現させていただきたいと考えております。なお、マニフェスト実現のための新規事業や政策的な判断を要する重要施策につきましては、今後、関係機関等で十分協議を行い、その結果をもとに、いわゆる「肉付け予算」として6月市議会定例会で補正予算案として提出させていただく予定でありますので、ご了承の程、よろしくお申し上げます。

結び

以上、今後の市政運営に対する所信の一端について申し述べさせていただきました。ただいまですが、行政の執行も野球のキャッチボールのように、常に相手の胸をめぐらして、しっかりとボールを投げる必要であります。自分勝手なボールを投げていたのでは、野球は上手になりません。市民の皆様との「協働のまちづくり」を進めるに当たっても同じことが言えるのではないのでしょうか。

市民の皆様や議員各位が投げる課



七つ目は、「交通網の整備」でございます。

幹線・防犯道路の整備促進と湖西線の増便に努め、利便を確保してまいります。

今回、提案をさせていただきました平成21年度当初予算は、選挙後、新年度予算編成に向けての政策協議のために十分な期間を確保することが困難な状況であったことから、人件費、公債費等の義務的経費や、その他施設管理費等の裁量の余地がない経常的経費を中心とした、いわゆる「骨格予算」として編成をさせていただきました。私がお申しますが、私が選挙活動を通じて市民の皆様方に訴えてまいりました公約の中から、市民皆様



題を真摯に受け止めて投げ返す。このような関係を丁寧にも何度か何度も繰り返しながら進めること。また、上意下達ではなく職員との連携によるチームプレーにより、困難な課題の解決や新たな施策の推進につなげることが出来るのではないかと考えるものであります。

一人で見える夢は夢でしかありません。みんなで見る夢は現実となりま。皆様と一緒に素晴らしい夢『高島市』を実現したいと存じます。

私は、これまでの行政経験を活かしながら全身全霊をかけて市政運営に当たる所存でございます。

議員各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任所信表明ならびにご挨拶とさせていただきます。